

令和5年度第5回FD研修会・意見交換会

# 教育学部の未来を考える

令和5年11月9日

# 本日の予定

- ▶ 情報提供(富田先生より)
- ▶ グループディスカッション
- ▶ 情報共有

# 概要

本年9月に盛山文科相が「急速な少子化が進行する中での将来社会を見据えた高等教育の在り方について」を中教審に諮問しました。これに伴い、教員養成系学部にも統廃合の方向が見えつつあります。愛媛大学内でも機構の再編や教員組織の検討が進められるようです。一方で、愛媛県や近隣地域への優秀な教員の供給や現職教員研修等における本学部の役割は大きく、今後もそれは変わることはありません。縮小、統廃合の方向を前提に、本学部が今後どのような選択をすべきかということについて先生方と考えたいと思います。

# 情報提供

# グループワーク(前提条件)

学部の学生定員が削減されることに伴って、教員定員も削減されることになった。これによって、そのままでは現在教育学部で設置している教科の課程認定が維持できなくなってしまう。

どのような方策を取るべきか。学部内で取れる方策, 学内連携の下で取れる方策, 他大学との連携を前提に取れる方策, を想定しそれぞれのメリットやデメリット, 実現可能性を探る。